

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : **スズキ ウィンドーウォッシャー液**

推奨用途及び使用上の制限 : 本製品の主な用途は、自動車窓洗浄噴射装置に用いる洗浄液である。

会社名 : 日本ケミカル工業株式会社
住所 : 〒424-8558 静岡県静岡市清水区吉川 8 1 3 番地
電話番号 : 054-345-3476
FAX 番号 : 054-347-6865
担当部署 : 技術部

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類対象外
	可燃性又は引火性ガス (化学的に不安定なガスを含む)	分類対象外
	エアゾール	分類対象外
	支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	区分 3
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分外
	急性毒性 (経皮)	区分外
	急性毒性 (吸入: ガス)	分類対象外
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 粉じん)	分類対象外
	急性毒性 (吸入: ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2 A
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分 1
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (中枢神経系、視覚器、全身毒性、

呼吸器)

環境に対する有害性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

吸引性呼吸器有害性

水生環境有害性（急性）

水生環境有害性（長期間）

オゾン層への有害性

区分3（気道刺激性、麻酔作用）

区分1（中枢神経系、視覚器、呼吸器）

分類できない

区分外

区分外

分類できない

ラベル要素



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

H226 引火性液体及び蒸気

H319 強い眼刺激

H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

H370 臓器(中枢神経系、視覚器、全身毒性、呼吸器)の障害

H335 呼吸器への刺激のおそれ

H336 眠気又はめまいのおそれ

H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(中枢神経系、視覚器、呼吸器)の障害

注意書き：

【安全対策】

【保管】

P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P405 施錠して保管すること

P403+P233 換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。

【廃棄】

P501 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学特性・危険有害成分 : 含有成分及び濃度

化学名	濃度 wt%	CAS No.	化審法 No.	安衛法		PRTR 法	毒劇法
				表示対象物	通知対象物		
メタノール	50	67-56-1	2-201	該当	該当	非該当	※1
界面活性剤	1 未満	非公開	非公開	非該当	非該当	※2	非該当
モルホリン	0.1 未満	110-91-8	5-859	※3	※4	※5	非該当
その他	48.9～50.0	—	—	非該当	非該当	非該当	非該当

※1 メタノールは劇物であるが含有量より毒劇法に非該当。

※2 界面活性剤中のドデシル硫酸ナトリウム及びポリ(オキシエチレン)ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウムが第一種指定化学物であるが、含有量が1%未満のためPRTR法に非該当。

※3 モルホリンは表示対象物であるが含有量0.1%未満のため安衛法に非該当。

※4 モルホリンは通知対象物であるが含有量0.1%未満のため安衛法に非該当。

消火剤	: 小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤、乾燥砂 大火災：散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	: 棒状注水
特有の危険有害性	: 極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。 加熱により容器が爆発する恐れがある。 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 引火性の高い液体及び蒸気。
特有の消火方法	: 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合は、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。 引火点が極めて低い：散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水すること。 危険でなければ火災区域から容器を移動すること。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却すること。 消火作業は、可能な限り風上から行うこと。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際には、適切な保護具（空気呼吸器、化学用保護衣）を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしないこと。
- 直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離すること。
- 関係者以外の立入りを禁止すること。
- 作業者は適切な保護具（8. 暴露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けること。
- 適切な保護具を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
- 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用すること。
- 屋内作業の場合は、換気を充分に行うこと。風上から作業すること。
- 低地から離れること。
- 火災に備えて、消火剤を準備すること。

環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意すること。

環境中に放出してはならない。

回収、中和

- : 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸着し、あるいは覆って密

	ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
	取扱い後はよく手を洗うこと。
	眼に入れないこと。
	適宜な保護具を着用すること。
	屋外又は換気のよい区域でのみ使用すること。
	火気に近づけないこと。
	容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
	接触、吸入又は飲み込まないこと。
	他の薬品類との混合は行わないこと。
	作業衣等に付着した場合は着替えること。
	環境への放出を避けること。
接触回避	: 『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	: 取扱い後は、よく手を洗うこと。
保管	
技術的対策	: 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。 保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。 保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためすを設けること。 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設けること。 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし機器類は全て接地すること。
安全な保管条件	: 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。一禁煙 酸化剤から離して保管すること。 容器は直射日光や火気を避けること。 容器を密栓して換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。
混触禁止物質	: 『10. 安定性及び反応性』を参照。
安全な容器包装材料	: 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 製品としてデータなし
許容濃度	: 製品としてデータなし

空気中の濃度を暴露限界以下に保つために排気用の換気を行うこと。
 高熱取扱いで、工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置すること。
 機械的排気装置は防爆式とすること。
 取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、位置を明瞭に表示すること。

保護具

呼吸器の保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用すること。
 手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。
 眼の保護具 : 適切な保護眼鏡を着用すること。
 皮膚及び身体の保護具 : 適切な顔面用の保護具、ゴム長靴・ゴム前掛けを着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など : 液体、青色透明

臭い : メタノール臭
 臭いのしきい値 : 製品としてデータなし
 pH : 7.4 (25℃)
 融点・凝固点 : 製品としてデータなし
 沸点・初留点及び沸点範囲 : 製品としてデータなし
 引火点 : 26.0℃ (タグ密閉式)
 蒸発速度 : 製品としてデータなし
 燃焼性 (固体、気体) : 製品としてデータなし
 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : 製品としてデータなし
 蒸気圧 : 製品としてデータなし
 蒸気密度 (空気=1) : 製品としてデータなし
 比重 (相対密度) : 0.916g/cm³ (20/4℃)
 溶解度 : 可溶 (水)
 n-オクタノール／水分分配係数 : 製品としてデータなし
 自然発火温度 : 製品としてデータなし
 分解温度 : 製品としてデータなし
 粘度 : 製品としてデータなし

追加情報 (配合する主な原料個々のデータ)

メタノール

物理的状态、形状、色など : 無色液体
 臭い : 特徴的な臭気
 pH : データなし
 融点・凝固点 : -98℃ (融点)
 沸点・初留点及び

燃焼性(固体、ガス) : 該当しない
 粘度 : 0.59mPa・s (20℃)

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取扱いにおいては安定である。
 危険有害反応可能性 : 酸化剤と激しく反応し、火災、爆発の危険をもたらす。
 避けるべき条件 : 加熱
 混色危険物質 : 酸化剤、過酸化水素
 危険有害な分解生成物 : 加熱分解により一酸化炭素、ホルムアルデヒドを生じる。

11. 有害性情報

※下記有害性情報は、GHS 勧告により混合物としての GHS 区分を分類した結果に基づく。

急性毒性 : 混合物の急性毒性（経口）12060 mg/kg、区分外
 混合物の急性毒性（経皮）30250 mg/kg、区分外
 混合物の急性毒性（蒸気）62668 ppm、区分外
 混合物の急性毒性（ミスト）データ不足により、分類できない
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : データ不足により、分類できない
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分 2 成分 $\geq$ 10%より、区分 2A
 呼吸器感作性 : データ不足により、分類できない
 皮膚感作性 : データ不足により、分類できない
 生殖細胞変異原性 : 区分 2 成分 $<$ 1%より、区分外
 発がん性 : データ不足により、分類できない
 生殖毒性 : 区分 1B 成分 $\geq$ 0.3%より、区分 1
 特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分 1 成分 $\geq$ 10%より、区分 1（中枢神経系、視覚器、全身毒性、呼吸器）
 区分 3（気道刺激性、麻酔作用）
 特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分 1 成分 $\geq$ 10%より、区分 1（中枢神経系、視覚器、呼吸器）
 吸引性呼吸器有害

	の報告に基づき、区分外とした。なお、ヒトのパッチテストで陽性反応の報告が若干あるが、他のアルコールとの交差反応、あるいはアルコール飲用後の紅斑など皮膚反応の可能性もあり、メタノールが感作性を有するとは結論できないとしている。
生殖細胞変異原性：	マウス赤血球を用いた小核試験、吸入ばく露で陰性、腹腔内投与で陰性、であることから区分外とした。なお、マウスリンフォーマ試験の代謝活性化（S9+）のみで陽性結果はあるが、その他 Ames 試験やマウスリンフォーマ試験や CHO 細胞を用いた染色体異常試験など in vitro 変異原性試験では陰性であった。
発がん性：	未発表報告ではラット・マウス・サルで試験で発がん性なしとしている。また、ラットを用いた 8 週齢より自然死するまで飲水投与した試験で、雌雄に頭部と頸部のがん及び雌に血液リンパ網内系腫瘍の発生が有意かつ用量依存的に増加したと報告されている。しかし腫瘍の判定が標準的方法と異なり、動物の自然死後に行われていないため、評価あるいは比較が困難と考えられる。以上の相反する情報により分類できない。
生殖毒性：	妊娠マウスの器官形成期に吸入ばく露した試験において、胎児吸収、脳脱出などが見られ、さらに別の吸入または経口ばく露による試験でも口蓋裂を含め、同様の結果が得られている。メタノールの生殖への影響に関して、証拠の重みに基づく健康障害としての科学的判断がなされ、ヒトのデータは欠如しているが動物による影響は明確な証拠があることから、ばく露量が十分であればメタノールがヒトの発生に悪影響を及ぼす可能性があると結論されている。以上によりヒトに対して生殖毒性があると考えられる物質とみなされるので区分 1B とした。妊娠マウスの器官形成期に吸入ばく露した試験において、胎児吸収、脳脱出などが見られ、さらに別の吸入または経口ばく露による試験でも口蓋裂を含め、同様の結果が得られている。メタノールの生殖への影響に関して、証拠の重みに基づく健康障害としての科学的判断がなされ、ヒトのデータは欠如しているが動物による影響は明確な証拠があることから、ばく露量が十分であればメタノールがヒトの発生に悪影響を及ぼす可能性があると結論されている。以上によりヒトに対して生殖毒性があると考えられる物質

環境基準 : 製品としてデータなし。

※下記有害性情報は、GHS 勧告により混合物としての GHS 区分を分類した結果に基づく。

水生環境有害性（急性） : M×100×区分 1 成分+10×区分 2 成分+区分 3 成分<25%より、区分外

水生環境有害性（長期間） : M×100×区分 1 成分+10×区分 2+区分 3<25%より、区分外

オゾン層への有害性 : データ不足により、分類できない

追加情報（配合する主な原料個々のデータ）

メタノール

水生環境急性有害性 : 甲殻類 ブラウンシュリンプ 96h LC₅₀=1340mg/L

水生環境慢性有害性 : 難水溶性でなく（水溶解度=1.00×106mg/L50）急性毒性が低い

オゾン層への有害性 : 当該物質はモンリオール議定書の附属書に列記されていないことから、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

事業者は産業廃棄物を自ら処置するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合は、そこに委託して処理をすること。

するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れの無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

緊急時応急措置指針番号： 1 2 7 引火性液体（極性/水可溶）

1 5. 適用法令

法規制

消防法	: 非危険物
労働安全衛生法	: 危険物 引火性のもの 有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤（メタノール） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（メタノール） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（メタノール）
PRTR 法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
船舶安全法	: 危規則第2、3条 危険物告示 別表第1 引火性液体類
航空法	: 施行規則第194条 危険物告示 別表第1 引火性液体
海洋汚染防止法	: 個品運送 非該当
廃棄物の処理および清掃に関する法律	: 産業廃棄物規制

※必ず当該地域の法規制をご確認ください。

1 6. その他の情報

主な引用文献	原料メーカーのSDS 溶剤便覧 等
--------	----------------------

※注意

[会社情報]

販売者：(株)スズキ自販茨城

所在地：茨城県水戸市平須町1880-1

TEL:029-305-3511